

労働保険のお知らせ

21年度から労働保険（労災手続）は6月1日から7月10日までの間に行つていただけになります。（年度更新申告書は5月末に送付する予定です）

なお、労働保険料等の算定方法は変わりません。（確定保険料額の算定は、4月1日から翌年3月31日までに支払う賃金総額に保険料率を乗じて得た額となります）

申告書は5月末に送付する予定です）

なお、労働保険料等の算定方法は変わりません。（確定保険料額の算定は、4月1日から翌年3月31日までに支払う賃金総額に保険料率を乗じて得た額となります）

impression

市長 木下達則



「芝川の再生」

先月、旧芝川の現場を上田知事が訪れ、水質浄化に取り組んでいる鳩ヶ谷・川口両市民と交流を深めた。

旧芝川は、水門によって閉鎖された河川である。水源が都市排水ということで、水質汚濁が著しいが、流域住民と行政が一体となつた取組みにより年を追うごとに改善され、近年は、コイ、ボラ、スズキなど魚影も濃く、白サギや時にはカワセミも姿を見せようになつてきている。

芝川は、住民生活と一体となつて歴史を刻んできた。芝川は、江戸時代、見沼干拓事業の排水路として整備されたが、荒川等を介した舟の通運により江戸と結ばれ、流域は発展した。川口の鋳物の隆盛は、昭和初期まで続いた芝川通運によると言われている。

しかし、流域はしばしば湛水被害に悩まされた。特に、昭和33年9月の狩野川台風により、川口市では3万戸が浸水し、14万人が被災した。その後、流域の河川整備は急ピッタリで進み、昭和40年に新芝川が開削されたが、このため中居地区は南北に分断され、下流の河川環境を創造するものだ。

市内では、他の河川等でも、市民参加により様々な取組みが行われている。それらが大きな輪になり、素晴らしい環境が創造できるよう今回の芝川モデルに期待を寄せている。

徴収課 ☎ 048・600・6203

申込み・問合せ 市地域包括支援センター（福祉センター）内 ☎ 284・1250

ボランティア講習会

□ 歌や楽器を使って頭と体を動かそう

日時 3月19日（木）午後1時半～3時

場所 福祉センター

対象 歌や楽器を演奏します

講師 木内誠子氏（ピアノ）

対象 65歳以上の方、認知症の予防や介護に関心のある方30人（費用は無料）

朗読による人権学習の会

朗読奉仕サークル「でんじよ鳩の会」では、庄野輝子氏による「おはん」（宇野千代著）の朗読とお話をによる人権を考える会を開催します。

日時 3月13日（金）午前10時半～午後0時半

場所 やすらぎ会館

対象 ボランティアに興味のある方、これから活動を考えている方、活動を始めて間もない方、計20人

申込み・問合せ 市ボランティアセンター（やすらぎ会館内） ☎ 285・2050

長 (2)丸山淳士氏（財団法人墓所墓石模範管理者）
定員 各20人（先着順）
問合せ 全国送葬支援協議会鳩ヶ谷支部・前田さん ☎ 283・8357

シルバー人材センター新会員募集

日時 3月8日（日）午後1時半から

場所 島林さん

定員 40人

問合せ 市シルバー人材センター ☎ 282・282・5

643 743、城田さん

643 743、城田さん

問合せ 市シルバー人材センター ☎ 281・9881

643 743、城田さん

問合せ (社)市シルバー人材センター ☎ 281・9881

643 743、城田さん

著しいほど川と化した。しかし、環境問題への関心の高まりとともに、下水道整備の進捗、平成11年の浄化施設等の整備、平成15年の芝川への浄化導水事業の開始、住民の熱心な活動等により徐々にではあるが、改善に向いつつある。

昨年から県による芝川再生事業が始まった。川底のヘドロを取り除き、生物の多様性に満ちた水辺環境を取り戻す

事業で、流域住民と協力して、水辺で遊び、しじみを採つた頃の河川環境を創造するものだ。

お葬式セミナー

日時 ①3月28日（土）②4月18日（土）、いずれも午前10時～正午

場所 ①南公民館②ふれあいプラザくら

内容 ①「その時あわてないために」②「お墓の選び方買いか」※費用は無料

講師 ①鎌田明氏（NPO法人全国送葬支援協議会副理事

職員の募集

職種 ①一般事務職（常勤）

募集人員 ①1人②若干名

応募資格 ①大学・短大を卒業し（見込み可）、社会福祉主事等の資格を有する方

必要書類 ①、②とも履歴書（卒業見込み証明書）また、

応募方法 ①は資格証明書の写しも持参

3月13日（金）ま

でに必要書類を持参し、市社

会福協議会へ

問合せ 同協議会 ☎ 285・

2050